

<同日発表>

岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市

<配布先>

中部地方整備局記者クラブ

<問い合わせ先>

中部地方整備局 企画部

広域計画課 課長

課長補佐

TEL : 052-953-8129

ごとう あきら

後藤 明

のむら ひろし

野村 博

(直通)

中部地方整備局

令和4年7月29日

第6回中京都市圏パーソントリップ調査を実施します

令和4年9月から12月に、中京都市圏内（岐阜県南部・愛知県全域・三重県北勢地域の97市町村）にお住まいの方を対象とした交通実態調査（パーソントリップ調査）を実施します。

中京都市圏パーソントリップ調査は、昭和46年から10年ごとに5回実施しており、今回が6回目の調査となります。今回のパーソントリップ調査は、中京都市圏内にお住まいの方の中から無作為に抽出した約39万世帯、約84万人を対象に、「どのような方が、どこからどこへ、どのような目的・交通手段で、どの時間帯に移動したか」という日常生活における1日の人（パーソン）の動き（トリップ）を調査するものです。

調査時期

令和4年9月～12月（調査対象日は左記期間内の平日1日）

調査機関

国土交通省、岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市

調査方法

抽出された世帯あてに依頼状（ハガキ）を郵送しますので、1日の動きについてWEB回答（スマートフォン、パソコンなど）をお願いします。（調査票記入による回答も可）

調査結果の活用

都市交通の実態を詳細に把握・分析するとともに、今後の望ましい交通のあり方などを検討するための基礎資料とします。

添付資料

資料 第6回中京都市圏パーソントリップ調査の概要

■第6回中京都市圏パーソントリップ調査の概要

1 パーソントリップ調査とは

- ・中京都市圏では、1971（昭和46）年、1981（昭和56）年、1991（平成3）年、2001（平成13）年及び2011（平成23）年と、10年間隔で5回のパーソントリップ調査（交通実態調査）を実施しています。
- ・パーソントリップ調査は、対象圏域にお住まいの方を対象に、どのような方が、どこからどこへ、どのような目的・交通手段で、どのような時間帯に移動したかという日常生活における人の1日の動きを把握するものです。

2 調査対象圏域

- ・調査対象圏域は、岐阜県南部、愛知県全域、三重県北勢地域（97市町村）です。
岐阜県：17市16町
愛知県：38市14町2村
三重県：5市5町
⇒「60市35町2村」（参考を参照）
- ・第6回調査対象圏域の設定では、リニア中央新幹線の開業による生活行動圏への変化が生じる可能性がある中津川市を新たに追加しています。

3 調査実施時期

- ・2022年9月から12月までの4か月間を調査期間とし、期間内の指定の平日を調査日とします（調査対象者ごとに設定）。
- ・調査日とは、調査対象者の1日の動きを調査票に記入する日で、当日の午前3時から翌日の午前3時までの24時間です。

4 調査対象者

- ・本調査は、岐阜県南部、愛知県全域、三重県北勢地域の97市町村にお住まいの方から、無作為に抽出させていただいた約39万世帯の5歳以上の方、約84万人を対象としています。

5 調査方法

- ・世帯あてに依頼状（はがき）を送付しますので、1日の動きについてWEB回答（スマートフォン、パソコンなど）をお願いします。
 - ① 調査対象者の方々に、世帯単位でWEB回答を依頼するはがきを郵送します。はがきに記載されたリンクからWEB回答をお願いします。
 - ② WEB回答の無かった世帯には調査票を郵送します。調査票に御記入いただき、返送いただくか、WEBの回答画面から御回答いただけます。

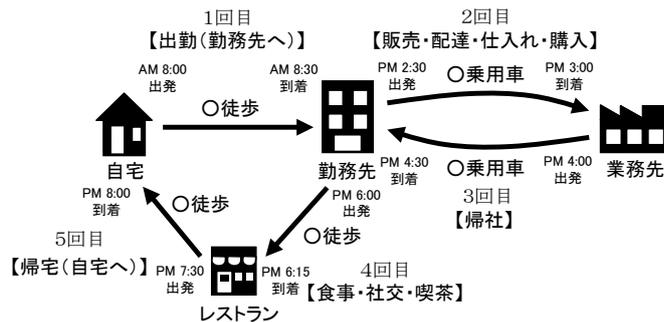
6 調査項目

- ・世帯を対象とした調査項目として、住所、性別、年齢、職業、自動車保有状況、外出に関する困難の有無等をお伺いします。

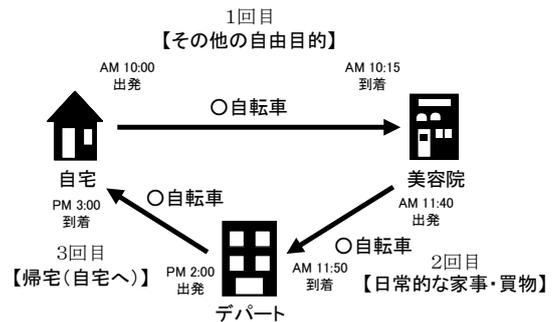
- ・個人を対象とした調査項目として、出発地（施設）、到着地（施設）、移動目的、目的地での消費額、発時刻、着時刻、利用交通手段、手段別の所要時間、同行者の人数、駐車・駐輪場所等をお伺いします。
- ・移動に対する新型コロナウイルス感染症の影響に関する調査項目として、影響の有無や定着状況等についてお伺いします。

※個々の回答内容を公表することはありません。また、調査目的以外に使用することはありません。

【(例) Aさんの1日の動き】



【(例) Bさんの1日の動き】



7. 調査の全体スケジュール

- ・今後のスケジュールは以下を予定しています。
 - 令和4年度 交通実態調査の実施
 - 令和5年度 現況交通実態の把握、将来交通需要予測等
 - 令和6年度 成果とりまとめ等

8 調査データの活用

- ・得られたデータを基に、中京都市圏の都市交通の実態を詳細に把握・分析するとともに、今後の中京都市圏の望ましい交通の在り方などの検討を行います。
- ・各地方自治体や関連機関が行う交通施設計画や交通政策などの検討にも活用されます。
- ・「環境対策」「防災計画」など、様々な分野で活用され、今後の安全安心で快適なまちづくりに欠かせない貴重な情報となります。

9 実施主体

- ・国土交通省、岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市

10 その他

- ・中京都市圏パーソントリップ調査の詳細に関しては、以下のアドレスから御覧いただけます。

○中京都市圏総合都市交通計画協議会ホームページ

【<https://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/chukyo-pt/index.html>】

【参考】第6回中京都市圏パーソントリップ調査 調査対象圏域

対象市町村数	
岐阜県南部	17市16町
愛知県全域	38市14町2村 (名古屋市を含む)
三重県北勢地域	5市5町
都市圏	60市35町2村

